

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名	カルミン
会社名	全国農業協同組合連合会
担当部署	耕種資材部
住所	〒100-6832 東京都千代田区大手町 1-3-1 J Aビル 33F
電話番号	03-6271-8285
FAX番号	03-5218-2536
電子メールアドレス	zz_hiyaku-gizvutsu@zennoh.or.jp
緊急連絡番号	03-6271-8285

推奨用途及び使用上の制限 肥料用及び肥料原料用。肥料用途以外には使用しないで下さい。

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	可燃性固体 自然発火性固体 自己発熱性化学品 水反応可燃性化学品 酸化性固体	分類できない 区分外 区分外 区分外 区分外
健康に対する有害性	金属腐食性物質 急性毒性(経口) 急性毒性(経皮) 急性毒性(吸入:蒸気) 急性毒性(吸入:粉じん) 皮膚腐食性・刺激性 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 呼吸器感作性 皮膚感作性 生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性	分類できない 区分外 区分外 分類できない 区分外 区分外 区分2B 区分1 区分1 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない
環境に対する有害性	特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露) 特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露) 吸引性呼吸器有害性 水生環境急性有害性 水生環境慢性有害性	分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:

危険

危険有害性情報:

眼刺激。
粉じんを吸入すると、喘息又は呼吸困難を起こすおそれ。
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

注意書き:

【安全対策】

適切な保護手袋を着用すること。
必要に応じて、適切な保護眼鏡、保護面を着用すること。
粉じんの吸入を避けること。
取扱い後はよく手を洗うこと。

【救急措置】

汚染された作業着は作業場から出さないこと。
粉じんが皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
粉じんが皮膚に付着した場合、汚染された衣類を脱ぐこと。
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
粉じんが眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
粉じんが眼に入った場合、直ちに医師に連絡すること。
気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。
乾燥した換気の良い屋内に保管する。
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

【保管】

【廃棄】

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別

混合物の粒状品

ドロマイト

化学名又は一般名:

ドロマイト(Dolomite)

別名:

苦灰石、白雲石、苦土タンカル、苦土石灰

化学式:

$\text{Ca}\cdot\text{Mg}(\text{CO}_3)_2$

官報公示整理番号(化審法・安衛法):

—

CAS番号:

16389-88-1

リグニンスルホン酸塩(Mg)

化学名又は一般名:

リグニンスルホン酸塩(Mg)

化学式:

特定できない

官報公示整理番号(化審法・安衛法):

(8)-209

CAS番号:

8061-54-9

4. 応急措置

粉じんを吸入した場合:

新鮮な空気のある場所に移動し、速やかに医師の診断を受ける。

粉じんが皮膚に付着した場合:

ただちに触れた部分を石鹼水と多量の清水で洗浄する。
皮膚に発疹、痛み等を感じた場合は医師の診断を受ける。
汚染された衣類を脱ぐこと。
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

粉じんが目に入った場合:

ただちに多量の水で洗眼し、速やかに医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合:

ただちに吐き出し、うがいをし、医師の診断を受ける。
ただし意識不明の場合は口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

消火剤:

粉末消火薬剤、泡消火薬剤、砂、霧状水

特有の危険有害性:

火災によって刺激性、腐食性及び／又は毒性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法:

周辺の火災の場合は、速やかに容器を安全な場所に移動させる。

温度上昇の危険がある場合には周囲を散水冷却する。

直接の消火にあたっては、火元への燃焼源を断ち、上記消火剤を用いて消火する。

消火を行う者の保護:

消火活動は可能な限り風上からおこなう。

燃焼により一酸化炭素、二酸化炭素、亜硫酸ガス等の有害ガスが発生する恐れがあるので、自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具

及び緊急時措置:

作業者は、適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項:	風上に留まる。低地から離れる。直ちに全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
回収、中和:	漏洩物を河川や下水に流してはならない。 少量の場合は、漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。 多量の場合は、土砂等で困って流出を防止し、スコップ又は吸引機等で空容器に回収後で廃棄する。
封じ込め及び浄化方法と機材:	危険でなければ漏れを止める。
二次災害の防止策:	排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策:	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策をおこない、保護具を着用する。
局所排気・全体換気:	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気をおこなう。
安全取扱い注意事項:	皮膚と接触しないこと。ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。 眼との接触、飲み込みを避けること。取扱い後はよく手を洗うこと。
接触回避:	「10. 安定性及び反応性」を参照。
保管	
技術的対策:	乾燥した換気の良い屋内に保管する。 取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
混触危険物質:	酸との接触を避ける。 雨水、直射日光、高温を避け、冷暗所に保管する。
容器包装材料:	包装、容器の規制がないが破損しないもの、吸湿性の少ないものを使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度:	未設定
許容濃度	
(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
日本産衛学会(2014年版):	第3種粉塵 総粉塵8mg/m ³ 吸入性粉塵2mg/m ³ (粉じんとして)
ACGIH(2005年版):	TLV-TWA 3mg/m ³
設備対策:	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
保護具	
呼吸器の保護具:	換気が不十分な場合には、呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具:	保護手袋を着用すること。
眼の保護具:	安全眼鏡を着用すること。撥ね飛び又は噴霧によって眼及び顔面接触が起こりうる時は、包括的な化学スプラッシュゴーグル、及び顔面シールドを着用すること。
皮膚及び身体の保護具:	適切な顔面用の保護具および保護衣を着用すること。
衛生対策:	取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など:	褐色又は灰色の粒状
臭い:	僅かな臭気(特異臭)をもつ
pH:	データなし
融点・凝固点:	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲:	分解
引火点:	不燃性
比重(密度):	2.8~2.9
溶解度:	水に微溶
分解温度:	ドロマイトの1次分解温度約800°C(MgCO ₃ が分解)、2次分解温度約900°C(CaCO ₃ が分解)

10. 安定性及び反応性

安定性:	通常の使用では安定。 加熱すると分解し、酸化カルシウムを生じる。 加熱すると、一酸化炭素、亜硫酸ガスなどの有害ガスが発生する可能性がある。
危険有害反応性可能性:	酸類と反応し、二酸化炭素を発生する。 強酸化剤と反応する。
避けるべき条件:	酸との接触。日光。雨漏れ。高温。
混触危険物質:	強酸化剤、酸類。
危険有害性のある分解生成物:	酸化カルシウム、一酸化炭素、二酸化炭素、メタン、水素、硫化水素。

11. 有害性情報

急性毒性:	ラットを用いた単回経口投与毒性試験で2000mg/kg投与したが、死亡例は認められなかった。LD50は2000mg/kg以上と推定される。 マウス経口LD50 40g/kg以上(リグニンスルホン酸塩換算)。
皮膚腐食性・刺激性:	粉じんは皮膚を刺激する。
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性:	(ドロマイトとして)粉じんが眼に入ると、痛みがある。 リグニンスルホン酸マグネシウム塩として区分2B。 リグニンスルホン酸マグネシウム塩として区分1。
呼吸器感作性又は皮膚感作性:	細菌を用いる復帰突然変異試験にて陰性。
変異原性:	データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性:	データ不足のため分類できない。
発がん性:	データ不足のため分類できない。
生殖毒性:	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露):	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露):	データ不足のため分類できない。
吸引性呼吸器有害性:	データ不足のため分類できない。

12. 環境影響情報

有機物を含むので、COD及びBODが検出される恐れがある。	
水生環境急性有害性:	データ不足のため分類できない。
水生環境慢性有害性:	データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意:

残余廃棄物:	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
汚染容器及び包装:	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規則	
海上規制情報	非該当。
航空規制情報	非該当。
国内規制	
陸上規制情報	非該当。
海上規制情報	非該当。
航空規制情報	非該当。
特別の安全対策	輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。 積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 他の危険物や燃えやすい危険物に上積みしない。 他の危険物のそばに積載しない。

15. 適用法令

作業環境評価基準 (労働省告示第79条、昭和63年9月1日)別表:	
肥料取締法:	

16. その他の情報

本データシートは、日本工業規格 Z 7253:2012「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」に準じて作成しており、製品の安全な取扱いを確保するための「参考情報」として、現時点で弊社の有する情報を取扱事業者にご提供するものです。

記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しましたので、新しい知見により改訂されることがあります。

本データシートは必ずしも製品の安全性を保証するものではなく、弊社が知見を有さない危険性、有害性の可能性がありますので取扱事業者は、これを参考として、個々の取扱い、用途、用法等の実態に応じた安全対策を実施の上、お取扱い願います。

本SDSは下記、村檜石灰工業株式会社の情報を元に作成しました。
該当物質については下記にお問い合わせください。

会社名	村檜石灰工業株式会社
住所	栃木県佐野市宮下町1番10号
電話番号	0283-86-3511
FAX番号	0283-86-4118
緊急連絡番号	0283-86-3676